



遊び隊長と遊ぶ子どもたち



竹で作った「ピタゴラススイッチ」



「ばそら」での工作



ポン太の着ぐるみと遊ぶ



親子でテント体験



子ども体験遊びリンピックの表彰式

この事業は、山口大学教育学部ちゃぶ台研修部との共催で、親子をはじめ山口の皆さんに「体験の風をおこそう」運動を知っていただき子どもの体験活動の重要性の理解していただくこと及び教員を目指す学生の自主性を引き出し企画力・子どもへの指導力を育むことを目的として実施され、山口市中央公園芝生広場及び山口ケーブルビジョン1階「ばそら」を会場として山口市内の親子・子ども411名の参加をいただきました。

当日は天候にも恵まれ、さわやかな秋晴れの中、教育学部学生による遊び隊長と「達磨さんが転んだ」、「陣取り」等の昔の遊びやモビールづくり、ストラップ作り等のクラフトを楽しみました。特に、竹を半分に割って作ったレールにビー玉やどんぐりを転がす「ピタゴラススイッチ」では子どもたちが自ら工夫しながら竹を繋げてコースを作っている姿が見られました。

なお、午前・午後の2回に分けて行われた「子ども体験遊びリンピック」では、スリッパとばしや空き缶つみ等の競技が行われ、子どもたちが一所懸命に取り組む姿やその後の表彰式での子どもの晴れやかな表情や親御さんの喜ぶ姿が見られました。

また、自然の家のマスコットである「ポン太」の着ぐるみが初披露となりイベントに花を添えました。